

【評価基準表】

| 項目 | | 評点 | 基準 |
|----|-----------|--|---|
| 1 | 規模・方法の妥当性 | 4 | 事業の規模・方法について対象者等の具体的なニーズに基づき、適宜見直しを行っている。もしくは、現段階では改善すべき点がない。 |
| | | 3 | 事業の規模・方法について適宜見直しを行っている。 |
| | | 2 | 事業の規模・方法について適宜見直しを行っているが、まだ見直しすべき点がある。 |
| | | 1 | 事業の規模・方法について見直しを行っていない。 |
| 2 | 公平性 | 4 | 対象を限定しておらず、負担金等の受益者負担を徴している事業であり、受益者負担額が適切な事業、または受益者負担が適さない事業（※1）。 |
| | | 3 | 対象を限定しておらず、負担金等の受益者負担を徴する必要がないと判断される事業（※2）、または対象が限定されており（※3）、負担金等の受益者負担を徴し、受益者負担額が適切な事業である。 |
| | | 2 | 対象者が限定されており、負担金等の受益者負担を徴する必要がないと判断される事業、または対象が限定の有無にかかわらず、負担金等の受益者負担金を徴している事業であるが、受益者負担額の見直しを行っていない事業である。 |
| | | 1 | 対象が限定の有無にかかわらず、負担金等の受益者負担を徴すべき事業であるが、受益者負担を行っていない事業である。 |
| | | ※1 ・市民生活や農産業のために市が行わなければならない事業：防災、整備、相談、検診 ・市内部の基盤整備や資質向上：情報、研修、資産管理 ・義務教育（無償）に関する事業：授業、人員配置 ・市税等徴収、助成事業 ※2 ・市民向けのサービス提供：福祉・子育て等のサービス、講座、イベント ※3 ・対象：妊婦、高齢者、成人 等 | |
| 3 | 効率性 | 4 | 単位コストが低下傾向である。 |
| | | 3 | 単位コストが維持または上昇傾向であるが、適時、単位コストの低下につながる取組みの見直しを行っている。 |
| | | 2 | 単位コストが維持または上昇傾向であるが、単位コストの低下につながる取組みを行っているものの、その見直しを行っておらず、効果が生じていない。 |
| | | 1 | 単位コストが維持または上昇傾向であり、単位コストの低下につながる取組みを行っていない。 |
| | | 把握できない | 活動又は成果の実績がないために単位コストが算出できない。 |
| | | R 3 新規 | 令和3年度新規事業。 |
| | | ※令和2年度の単位コストが著しく低いために、令和3年度の単位コストが上昇したように見える場合であっても、実績値に対する評点を付した。 | |

| 項目 | | 評点 | 基準 |
|----|-------------|-------------------------------|---|
| 4 | 活動目標 達成度 | 4 | 活動指標の達成度が75%以上である。 |
| | | 3 | 活動指標の達成度が50%以上75%未満である。 |
| | | 2 | 活動指標の達成度が25%以上50%未満である。 |
| | | 1 | 活動指標の達成度が25%未満である。 または、活動指標を成果を達成するための手段として再検討を要する。 |
| | | 活動に 至っていない | 活動実績がない。 |
| | | ※複数の指標で達成度が異なる場合は、平均した達成度で判断。 | |
| 5 | 成果目標 達成度 | 4 | 成果指標の達成度が75%以上である。 |
| | | 3 | 成果指標の達成度が50%以上75%未満である。 |
| | | 2 | 成果指標の達成度が25%以上50%未満である。 |
| | | 1 | 成果指標の達成度が25%未満である。 または、成果指標を目的（意図）の達成状況を把握するためのものに再検討を要する。 |
| | | 成果に 至っていない | 成果実績がない。 |
| | | ※複数の指標で達成度が異なる場合は、平均した達成度で判断。 | |